

---

# 大湾区情報 No. 28

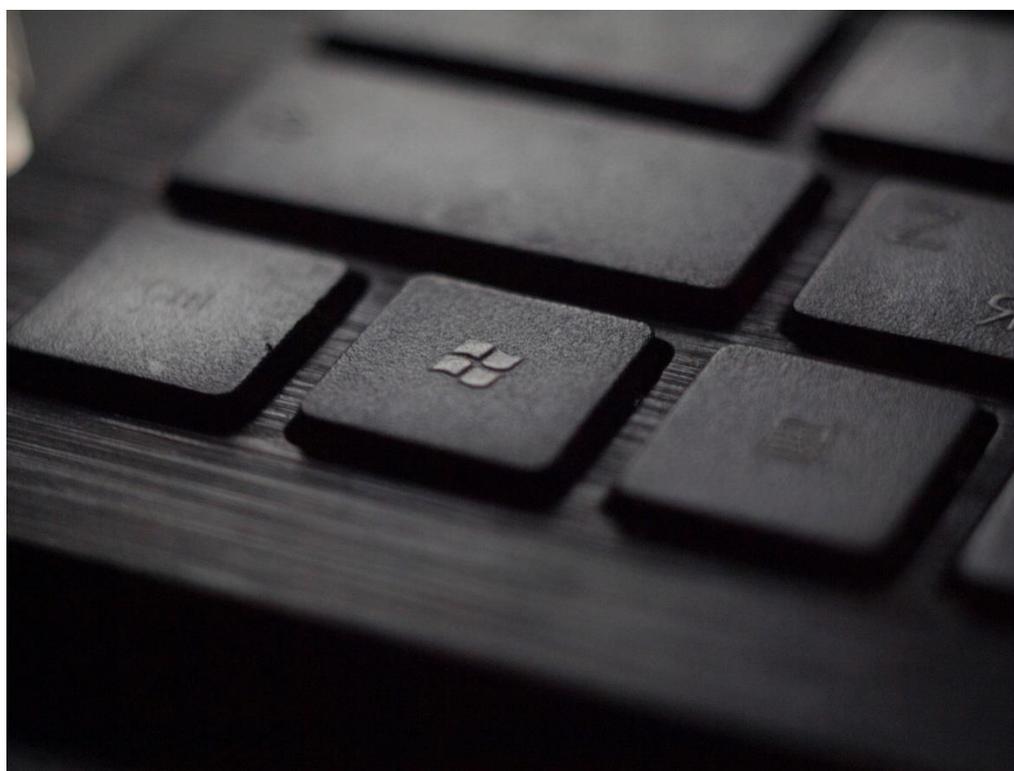
グレーターベイエリア情報 発行：2022年1月18日



---

「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

**【新世界発展、マイクロソフト香港とのMOUに調印、主にロボティクスとAIのスタートアップ企業を育成する大湾区アクセラレーター・スキームがスタート】**



2021年12月16日、香港の四大不動産デベロッパーに数えられる新世界発展有限公司は、同グループのスタートアップ・インキュベーション・プラットフォーム

---

ームである Eureka Nova が立ち上げた、機械・人工知能系スタートアップ企業の育成に特化した「大湾区アクセラレーター・スキーム」において、マイクロソフト香港と協力する旨の了解覚書（MOU）に調印したと発表しました。マイクロソフト香港は、本スキームの独占テクノロジースポンサーとして、選ばれたベンチャー企業にクラウドプラットフォームサービスなどの技術支援を提供し、ビジネスの発展をサポートします。

## 世界のスタートアップ企業 9 社がアクセラレーター・スキームに選出

Eureka Nova は、昨年 9 月に大湾区での事業展開を希望するスタートアップ企業に対して、新世界グループの住宅、小売、建設等部門の事業ニーズ、特に顧客参加度の向上や建築・不動産管理関連の自動化サービスの強化といった事業課題の解決をテーマに、第 1 期アクセラレーター・スキームを開始しました。スタートアップ企業はスキーム開始時にトレーニングを受け、経験豊富なメンターが製品・サービスモデルを分析し、大湾区市場に向けた戦略を策定します。また、本スキームでは、大湾区でのビジネスネットワークと露出を拡大するためのパイロットサイトを提供し、スタートアップ企業が最適な市場へのマッチングを実現するための支援を行います。

ロボティクスと人工知能に特化した本スキーム第 1 期においては、世界中のスタートアップ企業から応募があり、中国本土の企業 4 社、海外企業 4 社、香港企業 1 社の計 9 社が選ばれました。これらの 9 社は、Eureka Nova から開発支援とトレーニングを受け、新世界グループ傘下の事業部門と密接に連携する機会を得ることができます。

## マイクロソフト香港がクラウドサービスプラットフォームのサポートを提供

新世界グループとマイクロソフト香港との MOU 調印により、マイクロソフト香港は、本スキーム第 1 期の独占テクノロジースポンサーとなり、スキーム参加スタートアップ企業に対し Microsoft Azure クラウドサービスプラットフォーム

---

を提供し、クラウド・コンピューティング・プラットフォーム上でアイデアやソリューションを実現するためのアプリケーション構築、実行、管理を可能にします。これらのスタートアップ企業は、人工知能、モノのインターネット（IoT）、機械学習、複合現実感技術（MR）など、Microsoft Azure が提供するさまざまな製品・サービスを活用することができます。

本スキームに参加するスタートアップ企業は、大湾区の新世界グループ事業部門およびマイクロソフト香港と密接に連携し、テクノロジーソリューションの試験運用とスケールアップを実施する機会を得ることができます。マイクロソフト香港は、スタートアップ企業がサイバーセキュリティ関連の要件を満たし、長期的発展に向けた社内体制を確立するための支援を含め、ソリューションの商業的価値を企業レベルまでさらに高めるための技術的コンサルティングを提供する予定です。スタートアップ企業は、大湾区という新興イノベーションハブで新技術を披露し、大企業との B to B 取引におけるビジネスニーズを学び、理解することができます。

### 2022 年前半にデモンストレーションデーを開催予定

大湾区アクセラレーター・スキームでは、2022 年前半にデモンストレーションデーを開催し、今回選ばれたスタートアップ企業が、新世界発展の各部門、子会社の経営幹部、及びビジネス関係者に自社の製品やビジネス・インテグレーション・ソリューションを紹介し、協業の機会を模索する機会を持つこととなっています。

## 【広州市黄浦区で大湾区初の「専精特新\*\*産業園」始動】



山の中にひっそりと「横たわる」2つの巨大な「タイヤ」は、広州市黄浦区での中国初の「航空機用タイヤ力学・大型科学装置」です。

12月18日、黄浦区と広州開発区は、第4四半期の主要プロジェクトの完成および試作開始、そして大湾区初の「専精特新産業園」である広州開発区専精特新産業園の立ち上げに関するイベントを開催しました。科学技術革新や先端製造業などさまざまな分野のプロジェクト86件が完成、そして試作が開始され、プロジェクト投資総額は約861億人民元、生産能力（事業収入）は約1,562億人民元にも達する見込みです。

\*\*専精特新:

近年中国で「専門性があり、精巧な技術力を持ち、独自性に優れ、革新力の高い」中小企業、製品、プロジェクトに与えられる称号。省、直轄市政府認定の「専精特新」企業は税制優遇措置などの恩恵を受けることができる。

---

2021年において、黄浦区と広州開発区は既に5度のプロジェクト調印、着工、試作生産開始イベントを開催し、1兆元製造、1兆元国家資本、1兆元固定資産投資、1兆元商品という4つの「1兆人民元計画」の実施に対し強力なエネルギーを注ぎ、大湾区の実体経済最強地区構築に全力を挙げています。

## 大湾区と北京・天津・河北との夢の連携 広州開発区専精特新産業園オープン

「合芯科技（Hexin Technology）が北京・広州共同イノベーションセンターに進出してから、生産ラインの試運転まで、わずか3カ月しかかかりませんでした。黄浦区と広州開発区の新しい戦略的産業を発展させようという決意と、非常に温かみのあるビジネス環境に魅力を感じています。」国際ユーラシア科学アカデミーの学者、清華大学の魏紹軍教授はイベントのスピーチでこう語っています。

魏教授のいう「京広共同イノベーションセンター」は、広州経済開発区と北京経済開発区が地域間協力を率先して進めるために作った「専精特新」の一大キャリア・プロジェクトになります。これは国家レベルの南北2つの経済開発区が初めて「縁組み」をした結晶であり、広州開発区専精特新産業園の一部分でもあります。

近年、黄浦区と広州開発区は「中小企業も大活躍できる」先行デモンストラーション・ゾーンの建設を続けて行っており、中国初の「専精特新10ヶ条」特別政策を打ち出し、大湾区初の専精特新産業園、広州開発区専門特新産業園を建設し、「専精特新」企業の急速な成長と発展のための肥沃な土壌を提供しています。

12月18日当日、禾信儀器（Guangzhou Hexin Instrument）、方邦電子（Guangzhou Fangbang Electronics）、潔特生物（Guangzhou Jet Bio-Filtration）、昊志機電（Guangzhou Haozhi Industrial）、一品紅（Yipinhong Pharmaceutical）の併せて5つの黄浦区と広州開発区「専精特新」プロジェクトが完成し、試作生産が

---

開始されました。そして広州開発区専精特新産業園の2つの主要園区である京広共同イノベーションセンター及び鈞恒広場が完成しました。また、試作生産開始する「専精特新」プロジェクトの総投資額は約73億人民元、生産能力は約155億人民元となっています。

現在、中国工程院会員の王迎軍氏が率いる広東省新型生物材料・ハイエンド医療機器広東研究所、前述の魏教授が率いる大湾区合芯高性能サーバーイノベーション研究所など、多くのプロジェクトが既に京広共同イノベーションセンターに入居しています。

同日に完成、試作生産を開始した5つの「専精特新」プロジェクトは、いずれも異なるイノベーションのサーキットで加速走行する「チャンピオン」です。禾信質量分析産業化基地プロジェクトは、国家レベルの工程研究センター、製品応用デモンストレーション・センターなどを建設し、新たにPM2.5オンライン発生源質量分析装置と微生物質量分析装置等の生産ラインを8本増設し、年間220台の質量分析装置を生産を実現する予定です。また、広州方邦電子股份有限公司の試作生産プロジェクトは、主に電磁波シールドフィルムとフレキシブル銅張積層板の2製品の量産になり、主に5G通信、チップ包装、CSPフレキシブルプリント基板製作などのコア産業で応用され、当分野での日本企業による技術封鎖と市場独占の状況を打破し、中国国内における関連技術の空白を埋めていきます。

## 86の主要プロジェクトがイノベーションエンジンに火をつける 国際競争力のある産業ハブを構築

ここに86の主要プロジェクトが集中的に完成したことは、大湾区において質の高い発展の核となるエンジンを構築する「黄埔の役割」のレベルの高さを反映しています。これら86の大型プロジェクトの中でも、特に目を引くのが「航空機用タイヤ力学・大型科学装置」です。

---

中国科学院長春応用化学研究所と広東省大湾区黄浦材料研究所を頼りに、「航空機用タイヤ力学・大型科学装置」が完成し、世界トップクラスの航空タイヤ研究開発・イノベーション基地を構築、国内の航空タイヤ力学試験プラットフォームの空白を埋め、中国の航空タイヤ製造における「肝心な問題」の解決に努力します。

その他複数の試験生産プロジェクトが完成し、黄浦区や広州開発区のバイオメディカル産業はさらに拡大しています。すでに 500 以上の研究機関や企業の本社機能が集まっている広州市東南端に位置する「広州国際生物島」（旧称：官洲島）に、また新たに一つ大きなイノベーションのプラットフォームが誕生しました。

同日完成した北京市のバイオ製薬企業で、香港、ニューヨーク（ナスダック）上場の百濟神州（Beigene）社が開設の「百濟神州生物島イノベーションセンター」は、科学者と起業家を中心に特化したインキュベーターで、最先端の研究所インフラを備え、総合的な研究サービス、現場での科学研究、ビジネス支援が可能であり、また、科学者や起業家への潜在的な資金援助も可能とします。

康融東方生産基地は、康融生物と東瑞製薬の合併にて開設され、総投資額は 10 億人民元、生産能力は 104 億人民元となる見込みです。主な製品は、高コレステロール血症治療用の PCSK9 モノクローナル抗体新薬と、腫瘍治療用の VEGFR-2 抗体新薬 AK109 が中国で最初に中国国内で開発された主な製品となる見込みとなっています。

邁普再生医学（Medprin Regenerative Medical Technologies）は、広州サイエンスシティに科学技術本部基地を建設し、バイオ付加製造や精密加工などの先端製造技術を活用して国家レベルの技術革新プラットフォームを構築し、高性能体内埋込型医療機器産業のコア技術問題に取り組み一連の製品を開発し、組織修復などの高性能体内埋込型医療機器製品の産業化を加速させる予定です。

---

また「広州 No. 1 チップ」として知られる粵芯半導体（Guangzhou CanSemi Technology）も、プロジェクトのフェーズ 2 の完成を迎え、試作生産を開始します。粵芯半導体プロジェクトのフェーズ 2 は、広東省で唯一大量生産を開始した 12 インチチップ生産プラットフォームであり、大湾区製造業のパワー・ディスプレイ・デバイス、パワー・マネジメント・チップ、ミックスド・シグナル・チップなどの需要に対応し、22nmFDSOI 製品の研究開発パイロットラインを構築します。

【参考資料】

[・ New World Development and Microsoft Hong Kong Sign MOU for the First Cohort of the GBA Accelerator Focused on Robotics and AI \(マイクロソフト香港ニュース\)](#)

[・ 広州市黄浦区で大湾区初の「専精特新\\*\\*産業園」始動](#)